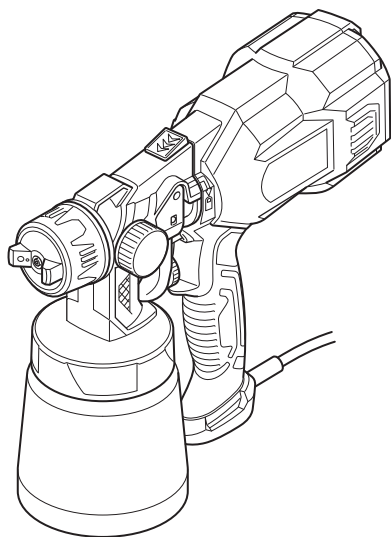


# 電動スプレーガン



各部の名称と機能	2～4
本体各部	2～3
付属品	4
<b>安全上のご注意</b>	<b>5～8</b>
警告	5～8
<b>ご使用前の準備</b>	<b>9～14</b>
本体の組立と ノズル部品の確認	9～12
ノズル部品の交換	13
エアフィルタの確認	14
<b>各調整機能の操作手順</b>	<b>15～16</b>
塗料の吐出量の調整	15
吹付けパターンの調整	16
平吹き方向(縦長、横長)の調整	16
<b>使用方法</b>	<b>17～22</b>
使用する塗料の準備	17～18
塗料経路の清掃	19
吸引パイプの位置を調整する	20
塗料タンクに塗料を入れる	20
運転確認	21
塗装作業	22
<b>使用後のお手入れ</b>	<b>23～24</b>
塗料の洗浄	23～24
<b>保守と点検</b>	<b>25</b>
<b>故障かな?と思ったら</b>	<b>26～27</b>
<b>仕様</b>	<b>28</b>

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

このたびは電動スプレーガンをお買い求めいただき、ありがとうございます。

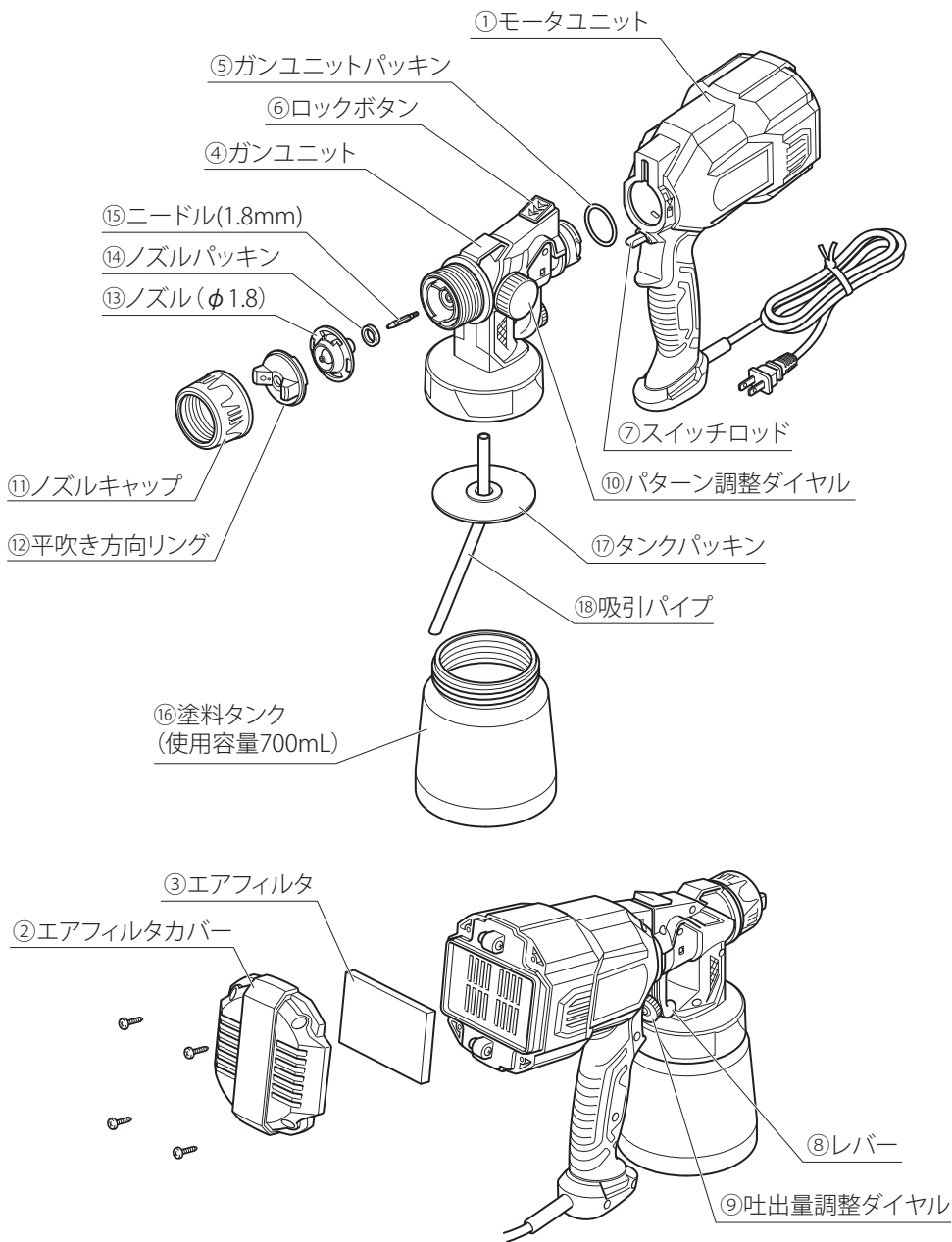
この商品は、**塗料を吹付け塗装する電動工具**です。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に本取扱説明書を必ず読み、記載の手順に従ってご使用ください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる場所に、大切に保管してください。
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- 本取扱説明書の裏表紙は、保証書となっております。販売店より「お買上げ日・販売店名」などの記入があることをお確かめください。
- 当商品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは当社(下記・裏表紙記載)にご連絡ください。



# 各部の名称と機能

## ■ 本体各部



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

開梱後、下記の物が揃っているかご確認ください。  
不足している場合は、販売店または発売元までご連絡ください。

No.	名 称	機 能
①	モータユニット	送風用のモータが内蔵されています。
②	エアフィルタカバー	エアフィルタを固定します。
③	エアフィルタ	送風するエアを濾過します。
④	ガンユニット	ノズル、レバー、各調整ダイヤルのユニットです。
⑤	ガンユニットパッキン	モータユニットとの密着度を上げるOリングです。
⑥	ロックボタン	モータユニット、ガンユニットの固定や解除をするボタンです。
⑦	スイッチロッド	レバーでスイッチロッドを押すことでモータが起動します。
⑧	レバー	モータの起動とニードルの開閉をするレバーです。
⑨	吐出量調整ダイヤル	塗料の吐出量を調整します。
⑩	パターン調整ダイヤル	塗料の吹付けパターンを調整するダイヤルです。
⑪	ノズルキャップ	ノズル、平吹き方向リングを固定するキャップです。
⑫	平吹き方向リング	平吹き方向(縦長、横長)を変更するリングです。
⑬	ノズル(φ1.8)	ノズルとニードルで、塗料と送風エアの量を調整します。
⑭	ノズルパッキン	塗料の経路の気密性を保つパッキンです。
⑮	ニードル(1.8mm)	レバーを引くことで前後に移動し、塗料と送風エアの量を調整します。
⑯	塗料タンク(使用容量700mL)	塗装用の塗料を入れる容器です。
⑰	タンクパッキン	塗料タンクとガンユニットの気密性を保持するパッキンです。
⑱	吸引パイプ	塗料をノズルまで吸引するパイプです。



# 各部の名称と機能

## ■付属品



⑱粘度カップ



⑳ノズルクリーナ



㉑ニードル交換スパナ

## 📦 梱包内容の確認

開梱後、下記の物が揃っているかご確認ください。  
不足している場合は、販売店または発売元までご連絡ください。

No.	名 称	機 能
⑱	粘度カップ	使用する塗料の粘度の測定に使用します。
⑳	ノズルクリーナ	ノズル穴の清掃に使用します。
㉑	ニードル交換スパナ	ニードル交換時の脱着に使用します。

※付属品は、部品として別売りもございます。下記部品別売表をご参照ください。

## ■部品別売表

No.	部 品 名	品 番	入 数
/	ノズルセット1.5mm	ESG-15NS	ノズル、ニードル各1個
⑬⑮	ノズルセット1.8mm (標準付属品)	ESG-18NS	ノズル、ニードル各1個
/	ノズルセット2.5mm	ESG-25NS	ノズル、ニードル各1個
③	エアフィルタ	ESG-AF	1個
⑯	塗料タンク	ESG-PT	1個
⑰⑱	吸引パイプセット (吸引パイプ、吸引パイプ固定リング、 タンクパッキン)	ESG-SPS	1セット
⑤	ガンユニットパッキン	ESG-GUP	1個
⑭	ノズルパッキン	ESG-NP	1個
⑲	粘度カップ	ESG-VC	1個
⑳	ノズルクリーナ	ESG-NC	1個
㉑	ニードル交換スパナ	ESG-NRS	1個

# 安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分しています。

## 警告

『死亡や重傷を負う、または火災が発生するおそれがある内容』です。

## 注意

『傷害を負う、または物的損害が発生するおそれがある内容』です。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分しています。



してはいけない内容  
『禁止事項』です。



必ず実行していただく内容  
『強制事項』です。

## 警告

- 取扱説明書をよく読み、指示に従う。**
  - ・取扱説明書に記載された内容以外での使用は、事故やけが、故障の原因となります。
- 使用可能な塗料（水性塗料、油性塗料【不燃性】）の吹付け塗装作業のみに使用する。**
  - ・指定塗料以外へのご使用は、重大な事故やけが、故障の原因となります。
- 下記の塗料や液体は絶対に使用しない。**
  - ・メタリック、パールなどの粉末入り塗料、骨材入り塗料、弾性塗料、高粘度塗料、二液性塗料、漂白剤や塩素を含む液体は使用しないでください。
- 美装仕上げを目的とする対象物には使用しない。**
  - ・自動車、オートバイ、平滑な金属製家具、家電製品等に使用しないでください。
- ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、軽油などの揮発性の高い液体や薬品などの材料は使用しない。不燃性液体のみを使用する。**
  - ・火災、爆発、事故、有機溶剤中毒の原因になります。
- 人体・動物・食品に向けて、塗料やうすめ液を吐出させない。**
  - ・けがや有機溶剤中毒の恐れがあります。
- 絶対に、ノズルをのぞき込まない。**
  - ・不意に塗料が吐出した場合、失明や重大な障害を負う危険があります。
- 作業中は火気厳禁とし、火の近くでの使用や喫煙しながらの使用はしない。**
  - ・火災や爆発の恐れがあります。
- 使用中の火災に備え、消火器を準備する。**
  - ・不意の火災に対応出来る準備をしてください。
- 指定された作業手順での塗装作業以外には使用しない。**
  - ・指定用途以外のご使用は、重大な事故の原因となります。

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

# 安全上のご注意

必ずお守りください。

## 警告



下記の条件を満たす場所で使用する。

- 雨や水のかからない、乾燥した場所。
  - 可燃性のガスや液体、揮発性の可燃物や火気が近くに無い場所。
  - 塗装中、乾燥中ともに換気ができる場所。
  - 足場が水平で、安定している場所。
  - 十分に明るく、ゴミやホコリの無い片付いた場所。
  - 子どもや、使用者以外が近づかない場所。
- ・上記に反する場所での使用は、火災や感電、爆発などの重大な事故やけがの原因となります。



作業者及び作業者付近の人は、サイドが保護された保護メガネ・防じんマスク（使用塗料に適したもの）を着用し、きちんとした服装で作業を行う。

- ・保護メガネは、作業中の飛沫塗料から目を保護します。
- ・防じんマスク（使用塗料に適したもの）は、作業中の塗料飛沫の吸引を排除し、有機溶剤中毒等を防止します。
- ・作業用手袋は、電動スプレーガンからの振動緩和と手への塗料付着を防止します。
- ・作業環境に応じて、防音保護具、安全靴・ヘルメット等の保護具を着用してください。



無理な姿勢で作業しない。

- ・常に足元を安定させ、バランスを保つようにしてください。



高所作業の場合は、作業場所近くに、電源コードの固定箇所を作る。

- ・不用意に電源コードが引っ張られたり、引っ掛かったりする危険を防止します。



試運転を励行する。

- ・作動不良による使用事故を未然に防止します。



騒音対策を行う。

- ・周囲に迷惑にならないよう騒音対策を行ってください。
- ・必要であれば遮蔽壁を設けて作業を行ってください。



分解禁止

分解、改造を行わない。

- ・事故やけが、故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または発売元までご連絡ください。



使用前に各部のボルトやねじにゆるみがないことを確認する。



本機は大切に取り扱い、誤って落としたり、ぶつかったりした時は、機体などに破損や亀裂、変形が無いことを確認する。

- ・破損や亀裂、変形があると、事故やけがの原因になります。



使用電源は必ず銘板に表示してある電圧(AC100V)で使用する。

- ・表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、事故やけが、故障の原因となります。

- ❗ **電源は定格1500W 15A以上のコンセントで単独で使用する。**
  - 十分な定格で無い場合、作動不良による破損やブレーカーが作動する恐れがあります。

- ❗ **次の場合は必ず電源プラグをコンセントから抜く。**

- ・モータユニットとガンユニットを分解する時。
- ・塗料タンクを取り外す時。
- ・ノズル部分を分解し清掃する時。
- ・本機を持って移動する時や、他者に手渡す時。
- ・修理や調整、点検整備を行う時。
- ・その他、事故が予想される時。



濡れ手禁止

### 本機や電源コードを濡れた手で使用しない。

- ・感電や事故の原因となります。



### 本機に、静電気が帯電しない作業環境下で使用する。

- ・本機はプラスチック製品なので帯電します。静電気のスパークが発生しない環境でご使用ください。



### 電源コードが傷んでいたり、コンセントにガタツキがある時は使用しない。

- ・短絡（ショート）、火災の原因になります。



### 電源コードは乱暴に扱わない。

- ・電源コードを引っ張って電動スプレーガンを移動させたり、電源コードを引っ張ってコンセントから抜いたりすると、電源コードを傷め、断線、短絡（ショート）の原因となります。
- ・電源コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。電源コードの破損の原因となります。
- ・電源コードを束ねたまま使用しないでください。発熱し電源コードの破損の原因となります。
- ・電源コードを持って本機を持ち運びしないでください。電源コードの断線の原因となります。



### 延長コードを使用する場合は、コード断面積2.0mm<sup>2</sup>以上、10m以内の物を使用する。

- ・適切な延長コードでないと作動不良による破損やブレーカーが作動する恐れがあります。



### 屋外使用にあった延長コードを使用する。

- ・野外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。



### 本機を直流電源やエンジン発電機で使用しない。

- ・作動不良や思わぬ事故の原因になります。



### 作業場から離れる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

- ・不意な事故を防止します。



### 不意な始動は避ける。

- ・電源プラグをコンセントに差し込む前に、レバーを引いていないことを確認してください。

各部の名称

安全上の注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

# 安全上のご注意

必ずお守りください。

## 警告



**塗装作業や清掃時の空吹き作業以外は、レバーに指をかけない。**

・レバーに指をかけたまま、本体を持ち運んだり、塗料タンクに塗料を入れたりしないでください。不意にレバーを引き塗料が吐出される恐れがあります。



**作業中に異音、異臭などが発生した場合は、作業を中断してレバーから指を放し、電源プラグをコンセントから抜く。**

・そのまま使用せず、販売店または発売元までご連絡ください。



**エアフィルタカバーの空気吸入口をふさがない。**

・吐出空気の吸引ができなくなり、故障の原因になります。



**使用後は、塗料タンクに塗料を入れたまま保管しない。**

・塗料が乾燥し、塗料タンクの再使用ができなくなります。



**使用する塗料に表示されている「使用方法」をよく読み、理解した上で使用する。**

・間違った方法で使用すると、本機の故障の原因に繋がりと、塗料が使用できなくなる恐れがあります。



**塗料の希釈は、塗料メーカー指定の希釈液を使用する。**

・指定外の希釈液の使用は、塗料の劣化となり使用不可能となります。



**作業環境温度40℃以上になる環境下や、直射日光の当る炎天下では使用しない。**

・作業者と本機の負担が大きくなり、事故やけがの原因になります。



**連続使用中に、本機が熱を持った場合は使用を中断する。**

・暫く使用を中断し、本機の熱を放熱させます。



**幼児や子どもの手の届くところに保管しない。**

・事故やけがの恐れがあります。



**下記のような場所では、十分な能力を発揮しない場合がある。**

・高温多湿、高地、寒冷地など



**本機を他者に貸し出す場合は、必ず取扱説明書も一緒に貸し出し、使用方法を理解した上で使用する。**

・間違った使用は、事故やけが、故障の原因となります。



**定期点検を実施する。**

・本機や付属品に損傷が無い点検してください。損傷がある場合は使用しないでください。そのまま使用すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や故障の原因になります。



**不用となった塗料、うすめ液はそれぞれの自治体に従った方法で処分する。**





# ご使用前の準備

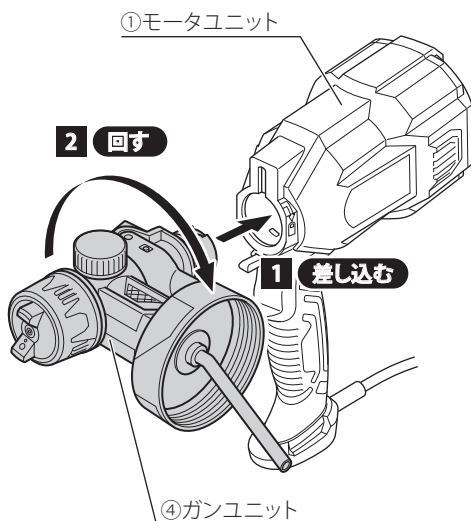


- ・取扱説明書をよく読み、指示に従ってください。取扱説明書に記載された内容以外での使用は、事故やけが、故障の原因となります。
- ・作業場所はいつも明るく、きれいにしてください。暗かったり、散らかった場所での作業は事故の原因になります
- ・部品を取り付ける前に、必ず電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認してください。

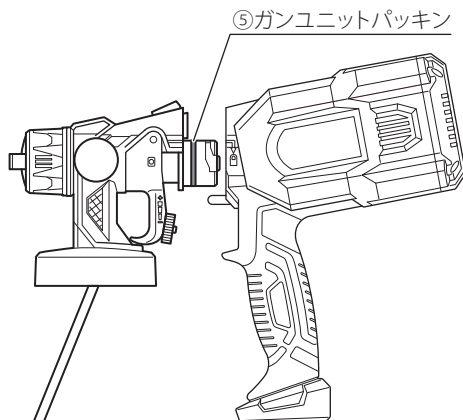
## ■本体の組立とノズル部品の確認

### 1 モータユニットにガンユニットを取り付けます。

- 図のようにモータユニットの取付部にガンユニットを90°傾けた状態で挿入し、その状態からガンユニットを「カチッ」とロック音がするまで右方向に回転させます。



ガンユニットパッキン部には滑らかに接続させるためにシリコングリスが塗布されています。他の部分に付着しないようご注意ください。付着した場合は、確実に拭き取ってください。



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

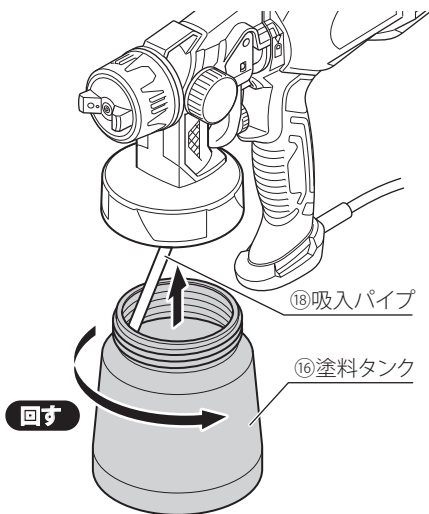


# ご使用前の準備

## ■本体の組立とノズル部品の確認(つづき)

### 2 塗料タンクをガンユニットに取り付けます。

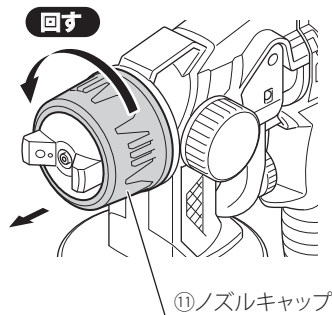
- 取り付けはネジ式になっているので、塗料タンクを右方向に回転させガンユニットに取り付けます。
- 塗料タンクを取り付ける前に塗料タンク内、吸引パイプ内に異物が入っていないか確認してください。異物が確認された場合は、取り除いてから塗料タンクを取り付けてください。



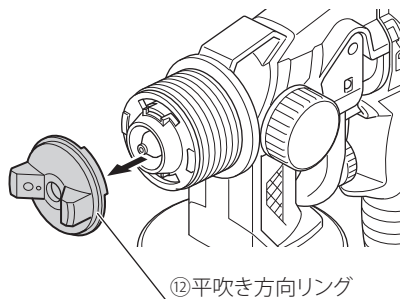
### 3 平吹き方向リング、ノズル、ノズルパッキン、ニードルのセットを確認します。

- ノズルキャップを外し、平吹き方向リング、ノズル、ノズルパッキン、ニードルが正しくセットされていることを確認します。

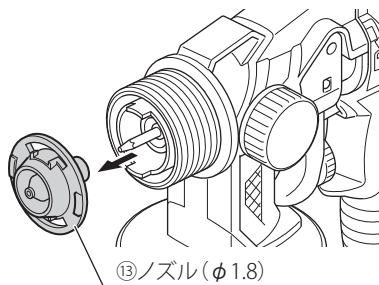
① ノズルキャップを左方向に回して外します。



② 平吹き方向リングを外します。



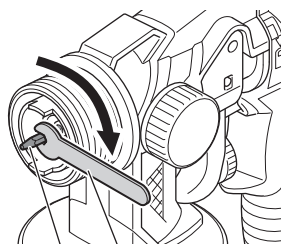
③ノズルを外します。



④ニードルが確実に固定されていることを確認します。



ニードルがゆるんでいた時は、付属のスパナで締め付けてください。

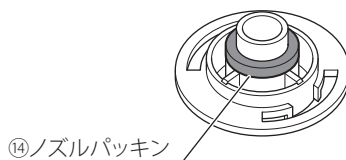


⑮ニードル(1.8mm)

⑳ニードル交換スパナ

⑤ノズルの裏側に、ノズルパッキンが取り付けられていることを確認します。

- ・ノズルのガンユニットへの取付部の外周とノズルパッキンには気密性を保持するためにシリコングリスが塗布されています。



⑭ノズルパッキン



グリスが取付部の内側に付着していた場合は、確実に拭き取ってください。内側に付着すると、吐出する塗料にグリスが混入する恐れがあります。

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

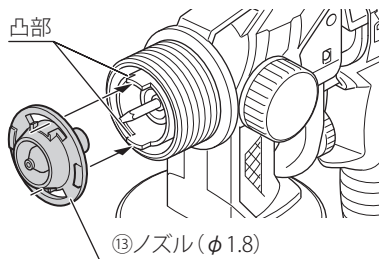


# ご使用前の準備

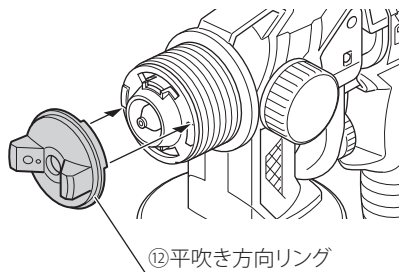
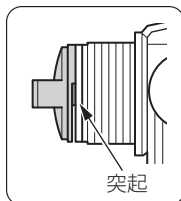
## ■本体の組立とノズル部品の確認(つづき)

### 4 セット状態を確認後、再度取り付けます。

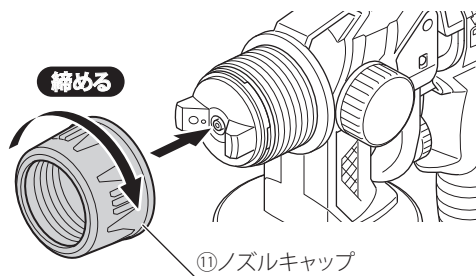
- ①ノズルの溝をガンユニット上下の凸部に合わせ取り付けます。



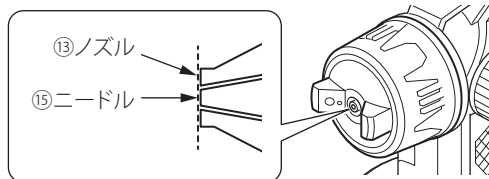
- ②平吹き方向リングの溝をノズルの突起にはまるように取り付けます。



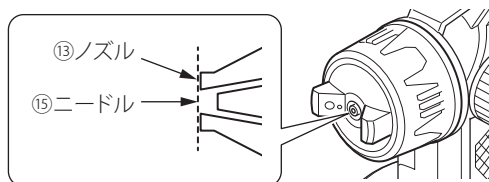
- ③ノズルキャップをガンユニットのネジ部にはめて右方向に回ししっかりと締め付けます。



- ④レバーを引かない状態で、ノズルとニードルの面がピッタリと合っていることを確認してください。



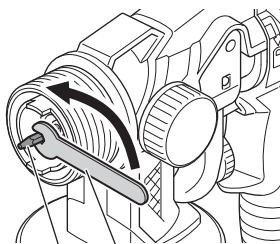
- ⑤レバーを引くとニードルが引き込まれ、ノズルとの間に塗料の通り道となる隙間ができます。レバーを引かない状態で、この隙間が発生している場合は、ノズルキャップのゆるみ、部品の取り付け間違い、異物や塗料ゴミの噛み込みが考えられるので、再度分解し確認、清掃してください。



## ■ノズル部品の交換

本機は別売のノズル、ニードルを交換することにより、塗料吐出量の変更が可能です。ノズルとニードルはサイズ毎にセットになっています。それぞれ真鍮部にサイズの刻印があるので、確認してから交換するようにしてください。ノズル、ニードルのサイズが異なっていると正常に使用できないので、ご注意ください。

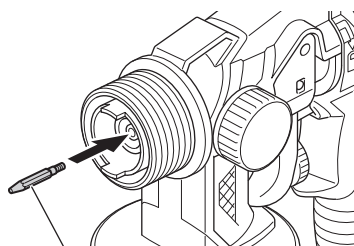
- 1** 前項の手順でノズルを取り外した後、ニードル交換スパナでニードルを取り外します。



⑮ニードル (1.8mm)

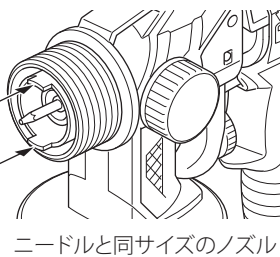
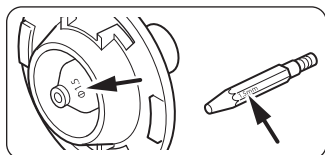
⑳ニードル交換スパナ

- 2** 使用するニードルを差し込み、ニードル交換スパナで固定します。



使用するニードル

- 3** 刻印を確認し、ニードルと同一サイズのノズルを取り付けます。



ニードルと同一サイズのノズル

### ■サイズと吐出量

ノズル、ニードルサイズ	品番	吐出量	ノズルカラー
1.5mm	ESG-15NS	180L/min	オレンジ色
1.8mm (標準付属品)	ESG-18NS	250L/min	黒色
2.5mm	ESG-25NS	350L/min	赤色

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



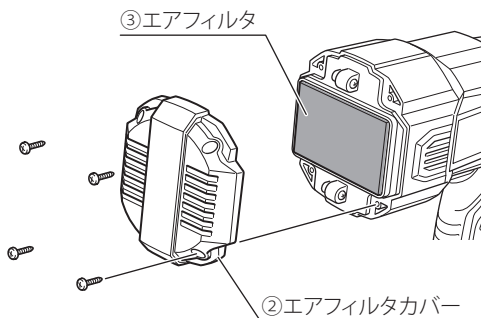
# ご使用前の準備

## ■エアフィルタの確認

**1** モータユニットのエアフィルタカバーを固定しているねじを  
⊕2ドライバーで取り外します。

**2** モータユニットにエアフィルタが取り付けられていることを確認します。

●ホコリなどでエアフィルタの目が詰まっている時には、エアガンや柔らかいブラシなどで清掃してください。



**3** 清掃後はエアフィルタ、エアフィルタカバーを元通りに戻してください。

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

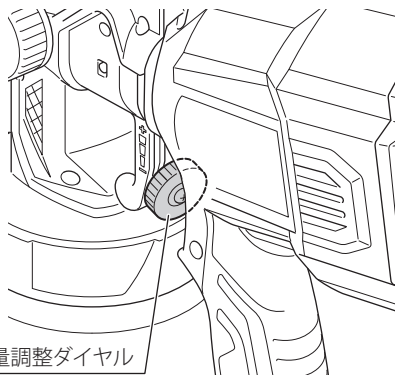


# 各調整機能の操作手順

本機は塗料の吐出量の調整、吹付けパターンの調整、平吹き方向（縦長、横長）の変更が可能です。下記の手順に沿って調整してください。

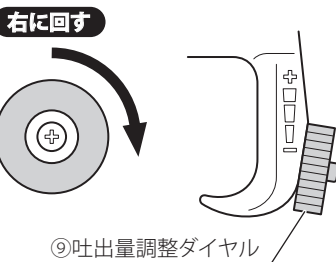
## ■塗料の吐出量の調整

- 1** ▶ レバーの裏にある吐出量調整ダイヤルで、吐出量を調整します。

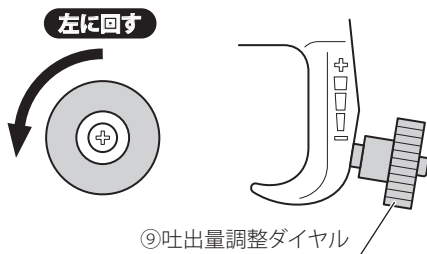


⑨吐出量調整ダイヤル

- 右回りに吐出量調整ダイヤルを締め込んだ状態が、一番吐出量が多くなります。



- 左回りに吐出量調整ダイヤルをゆるめた状態が、一番吐出量が少なくなります。



- 吐出量調整は、ダイヤルの位置で塗装作業に適した吐出量に調整してください。
- 吐出量調整ダイヤルを必要以上に締めたりゆるめたりすると破損の原因となるのでご注意ください。

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

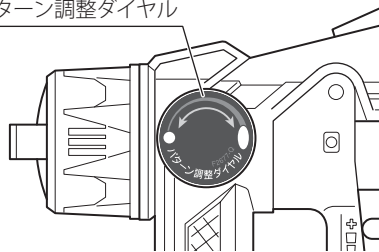


# 各調整機能の操作手順

## ■吹付けパターンの調整

- 1** ▶ ガンユニット左側のパターン調整ダイヤルで吹付けパターン(形状)を変更します。

⑩パターン調整ダイヤル



- パターン調整ダイヤルを左側に回すと「丸吹き」形状、右側に回すと「平吹き」形状となります。ダイヤルの位置により「平吹き」形状の大きさの調整が可能です。

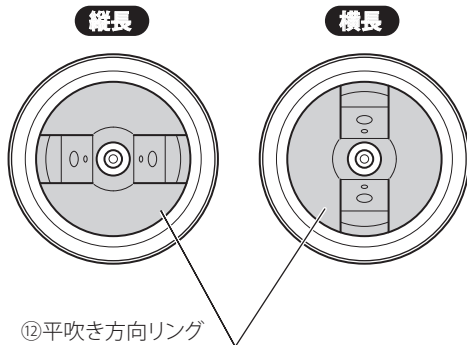


パターン調整ダイヤルを、必要以上に左右に回すと破損の原因となるのでご注意ください。

## ■平吹き方向(縦長・横長)の調整

- 1** ▶ 平吹き方向リングで、平吹き方向の縦長・横長の角度を変更できます。

- 平吹き方向リングの突起位置を回転させることで、平吹き方向(縦長・横長)を変えることができます。
- 調整後は、ノズルキャップのゆるみがないことをご確認ください。



・平吹き方向リングは回転途中の位置でも「平吹き」方向の調整が可能です。  
・平吹き方向リングを、必要以上に回すと破損の原因となるのでご注意ください。





# 使用方法

## ■使用する塗料の準備



- ・ 作業者及び作業者付近の人は、サイドが保護された保護メガネ・防じんマスク（使用塗料に適したもの）を着用し、きちんとした服装で作業を行ってください。
- ・ 塗料調整は、換気ができる場所で実施してください。
- ・ 塗装作業を行うまでは、塗料タンクに塗料を入れないでください。
- ・ 作業中は火気厳禁とし、火の近くでの使用や喫煙しながらの使用はしないでください。
- ・ 使用する塗料に表示されている「使用方法」をよく読み、理解した上で使用してください。
- ・ 塗料の希釈は、塗料メーカー指定のうすめ液を使用してください。

## 1

本機は水性塗料、油性塗料どちらも使用できます。

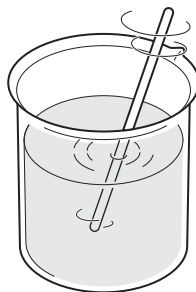
- メタリック・パールなどの粉末入り塗料など、一部使用不可の塗料もあります。 **P5**
- 塗装対象物、塗装環境、作業性などを考慮し使用する塗料を決めてください。

## 2

粘度カップを使用し下記手順で塗料の粘度を確認してください。

- ⑩粘度カップのカップ部が完全に塗料に沈む容器をご用意ください。

- ①使用する塗料を良く攪拌し、塗料全体の粘度を均一にします。



- ②粘度カップのつまみを持ち、粘度カップのカップ部を塗料が入っている容器の中に沈めます。



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



# 使用方法

## ■使用する塗料の準備(つづき)

③粘度カップを引き上げ、カップの先端(穴が開いている)が塗料面から離れ、塗料が流れ出した時から時間を測定してください。

④カップ先端から塗料が流れ落ち、塗料が途切れるまでの時間が塗料粘度となります。



塗料が完全に流れ落ちるのではなく、途切れた時なのでご注意ください。



## 4 塗料粘度の調整

●本機の推奨する塗料粘度は「8～12秒」となります。粘度を測定した塗料粘度が範囲外だった場合は、使用する塗料の原液の追加、または使用する塗料に適合する「うすめ液」で希釈してください。



- ・塗料の希釈は、必ずメーカー指定の「うすめ液」をご使用ください。
- ・粘度カップは塗料の粘度を簡易的に判断する道具であり、測定器ではありません。測定した数値は本機にのみ適用可能で、他への応用はできません。

## 5 使用後の洗浄

- 使用後は、粘度カップの塗料が付着している部分を、ウエスや柔らかい布などを使い、できるだけ拭き取ってください。
- その後、使用した塗料の「うすめ液」を使用し洗浄してください。
- 拭き取りには、ウエスや柔らかい布、ナイロンブラシなどを使用し、傷を付けないようにしてください。



- ・塗装作業を行うまでは、電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認してください。
- ・塗装作業を行うまでは、塗料タンクに塗料を入れないでください。
- ・人体・動物・食品に向けて、塗料やうすめ液を吐出させないでください。けがや有機溶剤中毒の恐れがあります。

## ■塗料経路の清掃

購入後、最初に使用される場合は、本体組立後に下記手順で塗料経路中のグリスや油分を取り除いてください。

- 1 ▶ 塗料タンクを左方向に回し、本体から取り外します。
- 2 ▶ 使用する塗料に適合した「うすめ液」を塗料タンクに入れます。
- 3 ▶ 塗料タンクを右方向に回し、タンクパッキンに密着するまで締め込みます。
- 4 ▶ 電源プラグをコンセントに接続します。
- 5 ▶ 不要な新聞紙、段ボール等にノズルを向けてレバーを引き、ノズルから「うすめ液」を吹付けます。
  - 塗装面や塗装予定面には吹付けないこと。
- 6 ▶ 吹付けられた「うすめ液」にグリス、油分が混入していないことを確認してください。
  - 吹付けた面で、「うすめ液」が弾かれていないこと。
- 7 ▶ 塗料タンクを取り外し、残った「うすめ液」を別容器に移して処分します。
- 8 ▶ 空の塗料タンクを再度本体に取り付けて、空吹きし塗料経路に残っている「うすめ液」を全て吐出させてから塗装作業を行ってください。
  - 塗装面や塗装作業面には吹付けないこと。

各部の名称

安全上の注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



# 使用方法

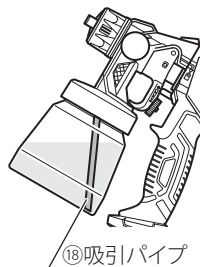
## ■ 吸引パイプの位置を調整する

塗料タンク内の塗料が少なくなると、吹付け方向の上向き下向きにより、吸引不良が発生します。それを防止するために吸引パイプの位置を調整します。

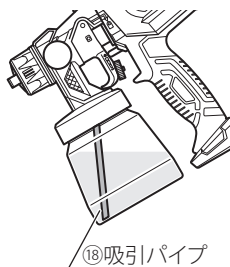
### 1 吸引パイプを回して先端の位置を調整します。

- 上向きで使用する場合、吸引パイプの先端部を後方（持ち手側）に向けます。  
下向きで使用する場合、吸引パイプの先端部を前方（持ち手から遠い側）に向けます。

上向き



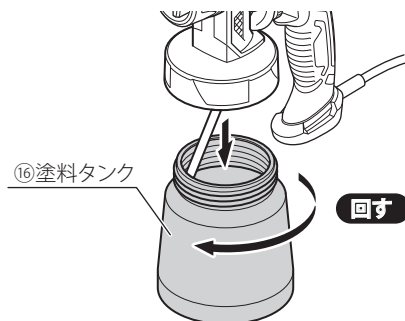
下向き



### 2 調整後、吸引パイプが確実に本体に取り付いていることを確認してください。

## ■ 塗料タンクに塗料を入れる

### 1 塗料タンクを左方向に回し、本体から取り外します。



### 2 粘度を調整した塗料を塗料タンクに入れます。 P17

- 塗料タンクの最大容量は700mLです。容量目盛は800mLまでありますが、塗料の漏れ防止を考慮し700mL以内でご使用ください。



### 3 塗料をこぼさないよう注意し、塗料タンクを本体に取り付けます。

- 塗料タンクを右方向に回して本体に取り付け、タンクパッキンに密着するまで締め込みます。



締め込みが浅いと塗料通路内の気密性が下がり、塗料を吸い上げることができなくなります。

## ■ 運転確認



- ・ 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧(AC100V)で使用してください。
- ・ 電源は定格1500W 15A以上のコンセントで単独で使用してください。
- ・ 作業者及び作業者付近の人は、サイドが保護された保護メガネ・防じんマスク(使用塗料に適したもの)を着用し、きちんとした服装で作業を行ってください。
- ・ 作業中は、換気ができる場所で開催してください。
- ・ 塗料が付着しては困る部分を、不要な新聞紙、段ボール、マスキングテープやシートなどで養生し、目的の塗装箇所だけに塗料が塗布されるように作業してください。



作業中は火気厳禁とし、火の近くでの使用や喫煙しながらの使用はしないでください。

塗料が確実に吐出することを確認するため、試し吹きを行ってください。



レバーから指を離し、電源プラグをコンセントに接続します。



不要な新聞紙、段ボール等にノズルを向けてレバーを引き、ノズルから塗料が吐出することを確認してください。



塗装面や塗装予定面には吹付けないでください。



この時に塗装作業に適切な条件「塗料の吐出量」「吹付けパターン」「平吹き方向(縦長、横長)」の調整を行ってください。 **P15・16**

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

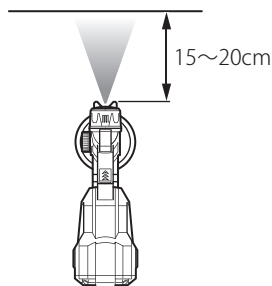


# 使用方法

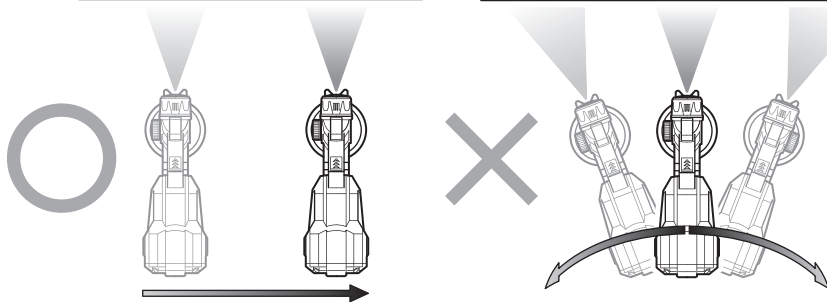
## ■ 塗装作業

**1** レバーから指を離し、電源プラグをコンセントに接続します。

**2** 塗装対象物から、ノズルを15～20cm離してレバーを引いてください。



**3** 一方向(往復しない)、一定のスピードで本体を平行に動かしながら、塗料を吹付けてください。前後、上下に振ると塗装ムラの原因となります。



- 一度に厚塗りすると、塗料が垂れる恐れがあります。厚塗りをする場合は、一度に吹付けせず、塗料の乾燥を繰り返し、数回に分けて吹付けてください。

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



# 使用後のお手入れ



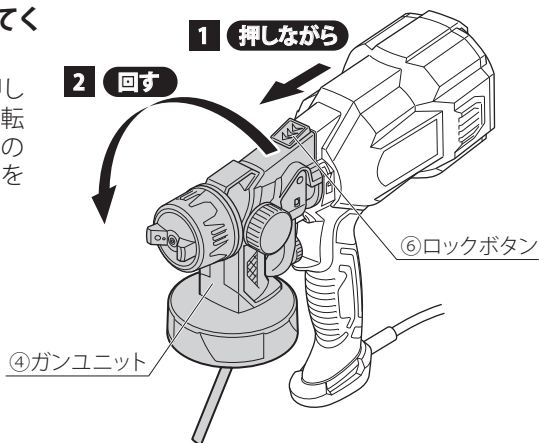
- ・必要な時以外、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- ・作業中は、換気ができる場所で実施してください。
- ・作業中は火気厳禁とし、火の近くでの使用や喫煙しながらの使用はしないでください。
- ・周辺の養生を行い、塗料が飛散しても処置できるようにしてください。

使用後は使用した塗料が乾燥する前に、本体、塗料タンクを洗浄してください。  
塗料が乾燥するとノズルや塗料経路が塗料で詰まり、再使用ができなくなる恐れがあります。

## ■塗料の洗浄

- 1 電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 塗料が付着しても処理しやすいように、作業場所周辺に養生を行い作業してください。
- 3 塗料タンクを本体から外し、残った塗料を別容器に移して処理してください。
- 4 吸引パイプ、タンクパッキンに付着している塗料をウエスや柔らかい布などを使い、拭き取ってください。
- 5 清掃しやすいよう、ガンユニットをモータユニットから外してください。

- ガンユニット上部のロックボタンを押しながら、ガンユニットを左方向に90°回転させるとモータユニットとガンユニットの接続が解除されるので、ガンユニットを前方に抜いてください。



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



# 使用後のお手入れ

## ■塗料の洗浄(つづき)

### 6 ▶ ガンユニット各部を洗浄します。

- ガンユニットからノズルキャップ、平吹き方向リング、ノズル、吸引パイプ、タンクパッキンを取り外し、ノズルの穴は付属品のノズルクリーナで清掃してください。
- ニードルや塗料経路など、塗料が付着している部分は、ウエスや柔らかい布などを使い、できるだけ拭き取ってください。
- その後、使用した塗料の「うすめ液」を使用し洗浄してください。
- 拭き取りには、ウエスや柔らかい布、ナイロンブラシなどを使用し、各部に傷を付けないようにしてください。

### 7 ▶ うすめ液で空吹きを行います。

- 各部の洗浄が終わったら本体を組み立て、塗料に適した「うすめ液」を塗料タンクに少量入れ、電源プラグをコンセントに差し込んだ後、綺麗な「うすめ液」が吐出されるまで空吹きを行ってください。

### 8 ▶ 空吹き作業が終了したら、電源プラグをコンセントから抜いてください。





# 保守と点検



- ・必要な時以外、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- ・作業中は、換気ができる場所で実施してください。
- ・作業中は火気厳禁とし、火の近くでの使用や喫煙しながらの使用はしないでください。
- ・周辺の養生を行い、塗料が飛散しても処置できるようにしてください。

## ■保守と点検

1

ノズルの穴や吸引パイプを始めとする塗料経路に、塗料が固着していないことを確認してください。



ノズルの穴は付属品のノズルクリーナで清掃してください。

2

固着した塗料が取れない場合は、部品を交換してください。

■部品別売表 P4

3

エアフィルタを確認してください。汚れや目が詰まっている場合は、エアガンや柔らかいブラシ等で清掃してください。清掃で綺麗にならない場合は、部品を交換してください。

4

ノズルのガンユニットへの取付部の外周とノズルパッキンの端面に市販のシリコングリスを薄く塗布してください。塗料経路の気密性を高めます。

5

ガンユニットパッキン部に市販のシリコングリスを薄く塗布してください。モータユニットとの組み立てが滑らかに行えます。

6

4、5共に指定箇所以外にシリコングリスが付着した場合は綺麗に拭き取ってください。

7

保守、点検後は下記の状態を維持できる場所に保管してください。

- 車中や高温になる場所、直射日光のあたるような場所には保管しない。
- 雨水や湿気の多い場所、ゴミやホコリの多い場所には保管しない。
- ガソリンや揮発性の高い、引火物のある場所には保管しない。
- 子どもの手の届く場所には保管しない。

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



# 故障かな？と思ったら

●次のチェックリストに沿った点検を行ってください。

症 状	原 因	解 決 方 法
作動しない	①電源プラグがコンセントから外れている	①電源プラグを正しくコンセントに差し込んでください。
	②モータの故障	②お買い上げの販売店または発売元へご連絡ください。
塗料が吐出されない	①ノズルの詰まり	①ノズルクリーナで詰まった塗料等を取り除いてください。
	②吸引パイプが詰まっている	②吸引パイプを洗浄し、詰まりを取り除いてください。
	③吸引パイプがゆるんでいる、または外れている。	③吸引パイプをしっかりとガンユニットに取り付けてください。
	④塗料の粘度が高すぎる	④塗料を適正な粘度に調整してください。 <b>P17</b>
	⑤吐出量調整ダイヤルが適切でない	⑤粘度に合わせて、吐出量調整ダイヤルを調整してください。 <b>P15</b>
	⑥塗料タンクがガンユニットにしっかりと締め付けられていない	⑥塗料タンクがしっかりとガンユニットに密着するよう、締め付けてください。
	⑦ノズルパッキンの密着不良	⑦ノズルパッキンの洗浄、または交換をしてください。 <b>P9</b>
	⑧塗料タンク内の塗料が不足している	⑧塗料タンク内に、塗料を補充してください。
	⑨吸引パイプの位置が合っていない	⑨吸引パイプの先端部の向きを調整してください。 <b>P20</b>
	⑩ノズル、ニードルに隙間やガタつきがある	⑩ノズルキャップをしっかりと締めてください。
塗料の吐出量が多い、または少ない	①吐出量調整ダイヤルの位置が適切でない	①吐出量調整ダイヤルの位置を適切な吐出量に合わせてください。 <b>P15</b>
平吹き幅の幅が大きい、または小さい	①パターン調整ダイヤルの位置が適切でない	①パターン調整ダイヤルの位置を適切な平吹き幅に合わせてください。 <b>P16</b>
平吹き方向の角度が適切でない	①平吹き方向リングの位置が適切でない	①平吹き方向リングを回して適切な角度に調整してください。 <b>P16</b>

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

症 状	原 因	解 決 方 法
吹付けた塗料が 流れやすい	①塗料の吐出量が多い	①吐出量調整ダイヤルで、吐出量を調整してください。 <b>P15</b>
	②塗料の粘度が低い	②塗料粘度の推奨範囲内で、塗料の粘度を上げて調整してください。 <b>P17</b>
塗料の飛散が 多い	①塗装対象物までの距離が遠い。	①塗装対象物までの距離を縮めて調整してください。 <b>P22</b>
	②塗料の吐出量が多い	②吐出量調整ダイヤルで、吐出量を調整してください。 <b>P15</b>
塗装面がムラに なる	①電動スプレーガンの移動が適切でない	①電動スプレーガンの移動をムラがでない速さに調整し、塗装の方向を安定させてください。 <b>P22</b>
	②塗料の粘度が低い	②塗料粘度の推奨範囲内で、塗料の粘度を上げて調整してください。 <b>P17</b>

※これらのチェックを行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または発売元までご連絡ください。お問い合わせや、ご連絡がないまま直接発売元に修理品などを送付されても、処理・対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

型 式	ESG-550	空 気 流 量 (1.8mmノズル使用時)	約160L/min
定 格 電 圧	AC100V	塗 装 距 離 (目 安)	150~200mm
定 格 周 波 数	50/60Hz	塗 装 幅	200~300mm
定 格 消 費 電 力	550W	電 源 コード 長	約1.8m
定 格 時 間	30分	本 体 質 量	約1.3kg (燃料タンク含)
回 転 速 度	約30,000min <sup>-1</sup>	絶 縁 方 式	二重絶縁□
塗 料 吐 出 量 (1.8mmノズル使用時)	約250L/min	塗 料 粘 度 (目 安) (付属の粘度カップ使用)	8~12s
塗 料 タンク 容 量	800ml (使用推奨容量700ml)		
使 用 可 能 塗 料	水性塗料、油性塗料 ※可燃性液体の使用禁止		
セ ッ ト 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体(モータユニット) ……1台</li> <li>●本体(ガンユニット) ……1台</li> <li>●塗料タンク ……1個</li> <li>●粘度カップ ……1個</li> <li>●ノズルクリーナー ……1個</li> <li>●コードル交換用スパナ ……1個</li> </ul>		

## 保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な状態で使用し、故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

品 名	電動スプレーガン		お買い上げ日※	年 月 日
型 式	ESG-550		保証期間	6ヶ月
お客様※	ご住所	〒	販売店※	住 所 店 名 電話番号
	ご氏名	様		
	電話番号	- ( ) -		

※印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。

### 1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理になります。

- ①本書の提示がない場合。
- ②本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは文字を書き替えられた場合。
- ③使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ④お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障及び損傷。
- ⑤火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- ⑥一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
- ⑦リサイクル業者や、使用者等による再販など、当社の責任範囲を超える場合。
- ⑧日本国外での使用。

### 2. 本書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

### 3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

発売元 **株式会社パオック**

〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21  
TEL:(0256)33-5574 FAX:(0256)33-5559  
URL <http://www.paock.co.jp>